



淀川愛好会 YODORIC NEWS

No.70 2015 年 6 月 発行

〈会員の窓 27〉

前田 富久兒氏（大阪理化学株式会社社長）のご逝去を悼む

会長 澤井 健二

本会の会員である前田 富久兒様が、6 月 16 日にお亡くなりになりました。ALS という難病だったとか。昨年秋、京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーで製作中の巨椋池流域模型ビオトープに笹や茶の植栽をして下さったときに、足腰が痛んでつらいとこぼしておられましたが、まさかそんなにお悪いとは存じ上げず、その後お見舞いにもお訪ねしなかったことを悔いています。

前田様には、摂南大学に着任した 1993 年早々から、実験装置の製作等で随分とお世話になってきましたが、特に親密なお付き合いをさせていただくようになったのは、2001 年度に始めた摂南大学構内におけるビオトープづくりがきっかけでした。前田様の御専門は確か応用化学であったように伺っていましたが、生物に対する御造詣も深く、ビオトープづくりにはとりわけ大きな関心を寄せて下さり、率先して池掘りや植栽をボランティア作業として進めて下さるとともに、それに関わる私のゼミやクラブの学生達に、厳しさと温かさの両面をもって専門知識から生活面に至るまでユニークなご指導を賜りました。学生達は、前田様のことを「社長」と呼んで慕い、指導教員である私以上に深いお付き合いをさせていただいていたように思います。

前田様は淀川愛好会の活動にも深い理解を示して下さい、種々の行事に奥様と御一緒に参加して下さいました。私も淀川愛好会の行事にはよく家族同伴ででかけますが、前田様のお人柄には、私の妻もいつも敬服しておりました。前田様からは、時々、私の活動の進め方にご忠言もいただいていた。それは、淀川愛好会の活動は社会的に素晴らしいことであるのに、PR や規模の拡大への努力が不足しているとのことご指摘でした。淀川愛好会の会員数は約 200 名で、種々の行事への参加者は通常 50 名程度、夏の水環境交流会で 150 名程度ですが、それでは社会的影響力が小さいとおっしゃるのです。仲良しクラブで満足せず、もっと社会に打って出よとたびたび激励をいただきました。これからもそのお言葉を忘れずに、本会の有り方を考えて参りたいと存じます。この場をお借りしまして、皆様の一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

前田様、長い間、本当にお世話になり、ありがとうございました。どうぞ、安らかに眠りください。

合掌

イベント案内

近畿水環境交流会 in 宇治川オープンラボラトリー

日時 2015 年 7 月 25 日（土）9:30-18:30・26 日（日）8:30-15:30 （詳細は 3 頁）

〆切 2015 年 7 月 15 日

天若湖アートプロジェクト 2015「あかりがつなぐ記憶」

日時 2015 年 8 月 8 日（土）・9 日（日） 桂川・日吉ダム（天若湖）周辺 （詳細は 4 頁）

イベント報告

淀川愛好会 春のイベント

4月25日(土)午後、京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリーで開催されました。約60名の参加者がありました。はじめに、バーベキューパーティーを中庭で行いました。その後、巨椋池流域模型ビオトープ整備作業として、石拾い、溝掘りなどをしました。そして、7m×150mの洪水流実験水路にて、Eボートによる水害避難・水難事故防止訓練を行いました。夏のイベントの予行も行い、夏に向けての準備を進めることができました。準備に少し時間がかかりましたが、夏のイベントではもっとスムーズに準備や運営を行いたいと思います。



城北ワンド 外来魚駆除釣り大会

5月10日(日)午前10時～午後2時、イタセンパラ保全市民ネットワーク主催の外来魚駆除釣り大会が行われました。大阪工業大学・摂南大学・大阪産業大学の三校の協力もあって、参加者が約300名でした。今年の駆除作業では、範囲を例年よりも広げたことにより、去年に比べて10倍の約21kgもの大量の魚(ブルーギル、オオクチバス、カムルチー)を駆除することができました。



大川クリーン活動 川で学び・つながる

5月23日(土)、恒例の大川クリーン活動が行われ、本会からも3名が参加して、Eボート体験のお世話をしました。桜ノ宮貯木場跡の「ふれあいの水辺」周辺では、公園整備が着々と進行し、7月20日には自然再生ゾーン整備のワークショップも再開される見込みです。

クリーンリバー寝屋川作戦・春

5月24日(日)午前中行われました。当日の参加者は366名でした。ゴミの多くはビニール袋や菓子袋でしたが、なかには自転車などの大きなゴミもあり、引き上げる作業が大変でした。15年間継続して行われている清掃活動が、川をきれいにすることだけでなく、市民の意識の変化につながればよいと思います。

寝屋川流域ネットワーク懇談会

5月31日(日)、大東市の生涯学習センターアクロスにおいて開催されました。午前の懇談会では大阪府河川室から行政の動向の説明、大東市役所環境課・水政課から水質浄化活動についての説明がありました。また、ねや川水辺クラブと摂南大学エコシビル部、恩智川環境ネットワーク、アクアフレンズ、大東市の4つの市民団体の活動報告がありました。午後には、新堀川の水質浄化実験を見学した後、恩智川の松鼻橋左岸上流からEボート2艇で住道新橋まで漕ぎました。川へ降りる道が無かったため、Eボートを運ぶ作業が難航しました。住道の駅前近くに川辺に降りられるような工夫があればよいと感じました。



ホタル観賞会

6月6日(土)、交野市の南星台、関西創価学園にてホタル観賞会に参加しました。創価学園の中学生さんたちからホタルに関する簡単な説明やクイズがあり、ホタルの生態について学ぶことができました。一昨年台風の影響でホタルが流されてしまった南星台に2年ぶりに訪れました。南星台では台風の影響があったとは思えられないような何十匹ものホタルを見ることができました。初めてホタルを見た学生はもちろん、何度か見たことのある学生たちも風情のあるホタルの光に夏の始まりを感じていたようです。

巨椋池流域模型ビオトーププロジェクト

春のイベントでの溝掘り作業、みなさんのご協力により完成に向けて予定より進めることができました。ありがとうございました。現在は、あぜ板がすべて入り、周りに粘土を詰める作業をしています。池にはハスを植え、メダカ等の魚も放流しました。

春のイベントより着実に完成に近づいています。近畿水環境交流会の際にぜひビオトープもご覧ください。



今後のイベント詳細

“活かそう水辺、つながり流れ” 「近畿水環境交流会 in 宇治川オープンラボラトリー」のご案内

日時・場所 2015年7月25日(土)、10:00ー18:30 伏見港周辺および京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー
26日(日)、8:30ー15:30 同ラボラトリーおよび宇治川河川敷

内容 1日目 9:30ー10:00 受付(京阪電車中書島駅南改札口前)
10:00ー12:00 施設見学(伏見港周辺および京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー)
13:30ー14:00 受付(京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー流域災害研究センター、
京都市伏見区横大路下三栖、京阪電車中書島駅より西南へ徒歩約15分)
14:00ー17:30 シンポジウム
14:00ー 開会挨拶 実行委員長 水辺に学ぶネットワーク代表 摂南大学名誉教授 澤井健二
歓迎挨拶 京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー施設長 中川 一
祝辞 京都市伏見区長様(依頼中)
14:10ー 特別講演 「近年の豪雨土砂災害とその防止軽減策」
京都大学防災研究所流域災害研究センター長 藤田正治
14:55ー 報告 「京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー構内
巨椋池流域模型ビオトープ」について 澤井健二
15:30ー 活動紹介 ① ウォーターステーション琵琶の会 ② 桂川流域ネットワーク
③ 木津川流域ネットワーク ④ 淀川愛好会 ⑤ ねや川水辺クラブ
⑥ 摂南大学エコシビル部・PBL プロジェクト ⑦ 大和川市民ネットワーク
⑧ 武庫川流域圏ネットワーク ⑨ 紀ノ川の水環境を考える会
⑩ 近畿子どもの水辺ネットワーク ⑪ 琵琶湖・淀川流域圏連携交流会
17:30ー18:30 懇親会
2日目 8:30ー 9:00 受付(京都大学防災研究所宇治川オープンラボラトリー前宇治川河川敷)
9:00ー 9:30 河岸清掃
9:30ー10:00 開会式
10:00ー12:00 種々の水面利用の実践(生物観察、水質測定、距離測定、流速測定ほか)
12:00ー13:00 昼食休憩
13:00ー15:00 E ボートレース
15:00ー15:30 閉会式、後片付け
(雨天の場合は、午前中に実験施設見学、午後も天候が回復しない場合は、昼食後解散)

参加費 500円(資料代)(但し、1日目懇親会費1500円、2日目弁当代1000円は別途)

参加申込み 2015年6月15日～7月15日

主催 「近畿水環境交流会 in 宇治川オープンラボラトリー」実行委員会

主な構成団体：水辺に学ぶネットワーク(さわい水辺ネット)、京都大学防災研究所流域災害研究センター、
摂南大学(地域連携センター・瀬良ゼミ・石田ゼミ・エコシビル部)、NPO 法人近畿水の塾、
淀川愛好会、淀川管内河川レンジャー、淀川河川公園管理グループ共同体

後援 国土交通省近畿地方整備局、環境省近畿地方環境事務所、(独法)水資源機構関西支社、NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会、
(公財)河川財団近畿事務所、(一社)近畿建設協会、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構、近畿子どもの水辺ネットワーク、
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、三重県、奈良県、和歌山県、京都市

連絡先 〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科内

「近畿水環境交流会 in 宇治川オープンラボラトリー」実行委員会 事務局 石田裕子

TEL/FAX : 072-839-9125 E-mail : ishida@civ.setsunan.ac.jp

天若湖アートプロジェクト2015「あかりがつなぐ記憶」のご案内

メインプログラム「あかりがつなぐ記憶」は2015年8月8日（土）・9日（日）19時頃～開催されます。

昨年は台風で中止になりましたが、実行委員会一同、力を入れて頑張っています。この夏は、ぜひ日吉ダム・天若湖にお越しください。

公式HP <http://amawakaap.exblog.jp/>



日吉ダムと桂川



あかり道

- ・メインプログラム「あかりがつなぐ記憶」（8・9日）
- ・水の杜展（8・9日）
 - HAZ project さんによる木工ワークショップ
 - 谷内春子さんによる天若湖をイメージした日本画展
 - 天若集落に関する写真展
- ・桂川であそぼうワークショップ（9日のみ）
 - Eボート乗船体験など

〈会員の窓 28〉

苦手を好きに変える

森口 雄太

今年石田ゼミに配属され、忙しくも充実した日々を過ごしています。もともと魚が好きで、熱帯魚の飼育が趣味だったこともあり、魚類調査やビオトープでの活動、アユの遡上調査など毎日がとても楽しいです。石田ゼミに入った当初、魚についての知識はある程度持っていましたが、河川に関する知識は全くといっていいほどありませんでした。当時私は、魚が好きではあっても土木建築物についてさほど興味は持てませんでした。しかし、石田ゼミ生なのに河川の知識がないのはどうなのかと思い、ダムや河川の歴史について勉強しました。すると、知識がつくと共に、自分の中で変化が起こり始めました。勉強して知るほどに、ダムや河川が魅力的に見えてきたのです。その変化に気が付いたのは自動車の運転中でした。走行中に一庫ダムを見かけたときに、これがあの時勉強した一庫ダムかと思い、うれしくなる自分がいました。今までの私には考えられない変化です。まさかダムを見てうれしくなる日が来るとは。そして今、ダム建設を仕事にしようとしています。

こういったことは誰にでも日常的に起こり得ることだと思います。今まで興味がなかったことも、それについての知識を得ることで途端に楽しいものに見えてくるのです。興味分野が増えると普段の何気ない生活が、どんどん楽しくなってくるのです。これからも新しいことや苦手なことに臆することなく、積極的に挑戦して楽しいことや好きなことを増やしていきたいと思います。

（摂南大学 理工学部 都市環境工学科 4回生）

編集後記

今年も関西創価学園での恒例の、中学校の「蛭保存会」で育てられた「ホタル観賞会」に駆けつけた。観賞に訪れた沢山の人びとの静かなざわめきのある暗闇の中で、ゲンジボタルの雄の、この世に彼らの子孫を残そうとする、契りを結ぶべく相方誘いの、淡く点滅するシグナルに感動しながらも、いつものことだが、何かしら心満たされない違和感を憶えた。それは、遠い昔、わがふる里で見た、せせらぎの音が微かに聞こえる中、あたりの緑が放つ清々しい香りに満ちた暗闇に飛遊するホタル、ほたる、蛭でいっぱい情景、人の手が加わらない情景に重ならないものからくるものだった。

編集長 相本太刀夫（元摂南大学薬学部教授）

淀川愛好会事務局：〒572-8508寝屋川市池田中町17-8 摂南大学理工学部都市環境工学科 石田研究室内

TEL/FAX : 072-839-9125

HP : <http://www.setsunan.ac.jp/civ/yodoric>

E-mail: ishida@civ.setsunan.ac.jp